

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	⑤コンパクトで居心地のよい まちづくり	①住環境	① ②	① 安全な道路空間の整備 ② 都市計画道路の整備

事業名	泉大津駅西地区周辺整備事業	担当課名	都市づくり政策課
-----	---------------	------	----------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
住みやすさと優しさを次世代へと引継ぐまちをめざし、駅周辺整備事業の推進として泉大津駅西地区の活性化を促し、泉大津駅前通り線周辺の景観向上、歩行者の安全性の向上を図る。
(事業概要等)
都市計画道路泉大津駅前通り線の整備、およびその周辺道路である泉大津臨海連絡線、松之浜大津川線、小松原通線における歩行者通行空間の整備を行う。

【事業費】

項目／年度	R01 (決算額)	R02 (決算額)	R03 (決算見込額)	R04 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	75,123	232,706	107,892	327,398	
うち市負担分(千円)	27,840	144,133	55,412	257,927	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R01年度 実績値	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 目標値
泉大津駅前通り線事業用地の取得率	%	11	28	35	60
歩行者通行空間の整備率(670m)	%	100	-	-	-
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
都市計画道路泉大津駅前通り線は、平成29年度に事業計画認可を取得し、令和3年度は、昨年度に引き続き物件調査を行って補償算定を実施するとともに、事業用地を取得した。 なお、泉大津駅臨海連絡線と松之浜大津川線、菅原小松町線の歩行者通行空間は、令和元年度に整備が完了している。					

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	特記事項なし
--------	--------

【課題(問題点)】

課題(問題点)	国庫補助金および事業費の確保
---------	----------------

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 都市計画道路泉大津駅前通り線は、事業計画認可期間である令和6年度末までの完成を目指して事業を進める必要がある。
	改革・改善策等の具体的内容	特記事項なし

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	⑤コンパクトで居心地のよいまちづくり	①住環境	1	便利な暮らしを支えるまちづくりの推進

事業名	地域計画事業	担当課名	都市づくり政策課
-----	--------	------	----------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
都市の健全な発展と秩序ある整備を図るため、土地利用、都市施設の整備及び良好な市街地の形成に関する計画等の策定を目的とする。
(事業概要等)
都市計画に決定・変更及び都市計画審議会の開催。 都市計画に関する方針の策定。 都市計画に関する縦覧用図面、販売用市域図、地形図及び都市計画図の作成。 各種計画の策定に向けた検討

【事業費】

項目／年度	R01 (決算額)	R02 (決算額)	R03 (決算見込額)	R04 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	27,377	1,857	14,477	17,948	R3決算額には、R2の繰越額を含む
うち市負担分(千円)	18,477	1,857	11,277	14,398	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R01年度 実績値	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 目標値
用途地域の変更	地区	8	-	-	-
各種計画の策定	件	1	-	1	2
地形図の修正	地区	-	1	1	1
(指標を設定できない理由)					
都市計画に係る地域地区の指定や変更及び計画策定に関する事業であるため、成果の数値化は困難である。					
(成果の概要)					
現在の地形図は、現状と異なる箇所があるため、現状の土地利用の状況や都市施設の整備状況に合わせた修正を加え、更新を行った。 また、人口減少・少子高齢化への対応を見据え、本市における交通施策の指針とするために、泉大津市総合交通戦略の策定を行った。					

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	
--------	--

【課題(問題点)】

課題(問題点)	
---------	--

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) これまでどおり、住みよいまちづくりを実現するために、法定都市計画基礎調査や必要に応じた都市計画の変更及び必要な計画策定に向けた検討を実施していく必要がある。
	改革・改善策等の具体的内容	

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	⑤コンパクトで居心地のよい まちづくり	①住環境	2	良好な市街地の整備

事業名	景観形成誘導事業(景観市民会議「景観人の集い」)	担当課名	都市づくり政策課
-----	--------------------------	------	----------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
市民一人ひとりが景観を育てる主人公となるよう「景観人の集い」を設置し、市内の景観を親しみと愛着と誇りあるものとし、ゆとりとうるおいのある景観まちづくりの実現を図る。
(事業概要等)
景観市民会議「景観人の集い」の事務局として活動の支援を行う。

【事業費】

項目／年度	R01 (決算額)	R02 (決算額)	R03 (決算見込額)	R04 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	33	4	0	68	
うち市負担分(千円)	33	4	0	68	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R01年度 実績値	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 目標値
歴史こぼれ話の開催(景観人の集い活動実績)	回	1	0	4	4
絵のあるまちづくり(景観人の集い活動実績)	箇所	1	0	1	2
マップの作成・パネル展	回	1	1	0	0
(指標を設定できない理由)					
市民主体の景観に対する取り組みの事務局支援であり、成果の数値化は困難である。					
(成果の概要)					
令和3年度は、景観人の集いがこれまで行ってきた歴史的な景観を再発見するマップ(お地蔵さんマップ)の再編集を行った。また、新型コロナウイルス感染症の影響があるなか対策を万全に行い、景観人の集いの主催により歴史こぼれ話を開催した。					

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	
--------	--

【課題(問題点)】

課題(問題点)	
---------	--

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 景観は、魅力あるまちづくりの要因の一つであり、市域の良好な景観形成のためには、市民の景観に対する意識醸成が必要となる。そのために、今後も続けていく必要がある。
	改革・改善策等の具体的内容	

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	⑤コンパクトで居心地のよい まちづくり	①住環境	2	良好な市街地の整備

事業名	住居表示整備事業	担当課名	都市づくり政策課
-----	----------	------	----------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
従来の町名地番による住所の表示方法がわかりにくく、市民生活や企業活動に障害が生じるため、住居を表示する方法を合理的に定め、不便をなくし、住みよいまちづくりを目指すこと。
(事業概要等)
住居や事務所等の施設の所在する場所を、合理的な住居表示の方法によって定める。

【事業費】

項目／年度	R01 (決算額)	R02 (決算額)	R03 (決算見込額)	R04 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	198	217	250	251	
うち市負担分(千円)	198	217	250	251	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R01年度 実績値	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 目標値
住居表示プレートの発行件数	件	226	299	281	-
(指標を設定できない理由)					
新築届けがあった場合に住居表示を付番する事業であるため、目標値を設定することは困難である。					
(成果の概要)					
新築届のあった住宅に付番通知書と住居表示プレートを発行し、転入・転居時の居住地確認を円滑にし、登記簿等の変更時に必要となる住居表示証明書を発行している。					

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	新築等による住居番号の届出の際に、窓口での待ち時間を短くするため、また、単純に付番しにくい場合等があるため、あらかじめ、開発指導係に建築確認や開発の届出のあったものを確認し、付番の予定やプレートの発注を行っている。また、付番状況を市民課などでも随時、確認できるように共有フォルダへデータ化し保存している。
--------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

【課題(問題点)】

課題(問題点)	
---------	--

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 実施済の区域では、これまでどおり、不便をなくし、住みよいまちづくりを行うため、付番通知書及び住居表示プレートの発行を行い、未実施区域については、住民合意の形成された地域から順次住居表示を実施する必要がある。
	改革・改善策等の具体的内容	

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	⑤コンパクトで居心地のよいまちづくり	①住環境	3	安全・安心な住まいづくりの推進
事業名	市営住宅維持管理事業	担当課名	建築住宅課	

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)

市営住宅を日常的に管理し、低所得者が低廉な家賃で入居できるよう、公営住宅を提供、及び必要な維持管理の実施

(事業概要等)

市営住宅使用料(家賃)徴収事務及び維持管理に伴う修繕等

【事業費】

項目／年度	R01 (決算額)	R02 (決算額)	R03 (決算見込額)	R04 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	6,177	7,468	7,845	10,193	
うち市負担分(千円)	6,177	7,468	7,845	10,193	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R01年度 実績値	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 目標値
家賃収納率(収納額÷調定額×100)	%	95.8	94.1	99.2	100.0
入居率(入居戸数÷入居可能戸数×100)	%	78.9	78.1	76.0	—
(指標を設定できない理由)					
低所得者等への施策のため、入居率に対する目標値は設定しない。					
(成果の概要)					
定期的な維持管理・点検及び修繕等の実施により住宅の環境維持が図られた。 市営住宅管理システム更新(令和4年3月)					

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	泉大津市住宅マスタープランの改訂(平成30年度実施) 泉大津市公営住宅等長寿命化計画の改訂(平成30年度実施)
--------	------------------------------------------------------------

【課題(問題点)】

課題(問題点)	市営住宅は昭和40年代に建設されたものが多く、劣化が著しいため建物や設備に係る維持管理費用の確保が課題である。
---------	---------------------------------------------------------

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 公営住宅法に基づき適正に維持していく必要がある。
改革・改善策等の具体的内容	泉大津市住宅マスタープランや泉大津市公営住宅等長寿命化計画に基づき適正な管理運営を行う必要がある。	

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	⑤コンパクトで居心地のよいまちづくり	①住環境	3	安全・安心な住まいづくりの推進
事業名	市営住宅施設整備事業	担当課名	建築住宅課	

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)

低所得者に低廉な家賃で公営住宅を提供できるよう、空家となった住宅の補修工事及び維持管理に係る改修工事を行う。

(事業概要等)

経年劣化に伴う改修工事及び、空家の補修工事を実施し、入居者の募集を行い提供する。

【事業費】

項目／年度	R01 (決算額)	R02 (決算額)	R03 (決算見込額)	R04 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	57,723	8,152	3,817	9,584	
うち市負担分(千円)	31,019	2,295	3,817	8,824	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R01年度 実績値	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 目標値
改修戸数率(改修戸数÷退去戸数×100)	%	25.0	50.0	20.0	50.0

(指標を設定できない理由)

(成果の概要)

河原町市住の補修工事を実施し、募集空家及びストック空家の適正な整備を行った。

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	泉大津市住宅マスタープランの改訂(平成30年度実施) 泉大津市公営住宅等長寿命化計画の改訂(平成30年度実施)
--------	------------------------------------------------------------

【課題(問題点)】

課題(問題点)	泉大津市公営住宅等長寿命化計画に基づき、計画的な市営住宅の建替や修繕、改善を実施していく費用の確保が課題である。
---------	----------------------------------------------------------

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 公営住宅法に基づき適正に維持していく必要がある。
改革・改善策等の具体的内容	泉大津市住宅マスタープランや泉大津市公営住宅等長寿命化計画に基づき実施していく必要がある。	

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	⑤コンパクトで居心地のよい まちづくり	①住環境	4	市民参加によるまちづくりの推進

事業名	まちづくり運営事業	担当課名	都市づくり政策課
-----	-----------	------	----------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
泉大津の風土と文化を活かしたうるおいと活力のあるまちづくりを、市民の自発的なまちづくり活動によって推進するための環境を整える。
(事業概要等)
市民のまちづくり会議や女性まちづくり会議に対して、まちづくり事業や計画を策定するため、多様な情報提供等を行うとともに市民の自主的なまちづくりを推進するための環境を整える。

【事業費】

項目／年度	R01 (決算額)	R02 (決算額)	R03 (決算見込額)	R04 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	311	44	10	322	
うち市負担分(千円)	311	44	10	322	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R01年度 実績値	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 目標値
まちづくり会議開催回数	回	8	4	5	-
(指標を設定できない理由)					
市民の自発的なまちづくりに関する取り組みを支援するものであるため、目標の数値化は困難である。					
(成果の概要)					
魅力あるまちづくり事業を策定する上で、各地区の風土、文化や景観等の視点から取り組みが行われている。令和3年度も、新型コロナウイルス感染症の影響により、活動が減少した。					

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	
--------	--

【課題(問題点)】

課題(問題点)	
---------	--

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 今後も定期的にまちづくり会議を開催していくため。
	改革・改善策等の具体的内容	

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	⑤コンパクトで居心地のよい まちづくり	①住環境	4	市民参加によるまちづくりの推進
事業名	まちづくり事務所維持管理事業	担当課名	都市づくり政策課	

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)

市内南海本線三駅周辺のまちづくりを進めていくため、市民と行政が一体となってまちづくりの実現に向け議論する場として、まちづくり会議を支援するためのまちづくり事務所を維持管理する。

(事業概要等)

まちづくりの拠点として、まちづくり事務所を設置。北助松駅周辺地区及び泉大津駅西地区まちづくり事務所は、市が維持・管理を行い、貸し出しについては、北助松駅周辺は地元自治会に依頼。泉大津駅西地区は、市で行っている。

【事業費】

項目／年度	R01 (決算額)	R02 (決算額)	R03 (決算見込額)	R04 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	560	590	355	510	
うち市負担分(千円)	560	590	355	510	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R01年度 実績値	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 目標値
事務所使用人数	人	7,865	2,516	2,185	3,000
使用回数	回	272	131	155	200

(指標を設定できない理由)

市民の自発的なまちづくりに関する取り組みを支援するものであるため、目標の数値化は困難である。

(成果の概要)

まちづくり事務所は、市内南海本線三駅駅周辺地区の住民主導の駅周辺地区まちづくり構想の作成など、地域整備の円滑な推進を図っている。令和3年度は令和2年度に引続き、新型コロナウイルス感染症の影響により、従前に比べ使用実績は大幅に減少した。

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	公共施設適正配置基本計画に基づき、松之浜駅前周辺地区まちづくり事務所の地域移管を令和3年度より実施
--------	---------------------------------------------------

【課題(問題点)】

課題(問題点)	
---------	--

【今後の方向性】

担当課の評価	B 改善し継続	(左記評価の理由) 当初目的としての使用は少なくなっているが、市民団体などの活動の場としては、広く使用されており、まちづくり事務所の位置づけ及び代替施設について検討が必要。また、地域移管に向けた検討が必要。
改革・改善策等の具体的内容	公共施設適正配置基本計画に基づく地域移管の検討	

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	⑤コンパクトで居心地のよいまちづくり	②臨海部	4	市民に親しまれる港湾づくり

事業名	港湾振興対策事業(清掃業務委託事業)	担当課名	地域経済課
-----	--------------------	------	-------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)	港湾地区内の緑地、緑道及び歩道の景観について、常に良好な環境を維持する。
(事業概要等)	緑地(泉北4区)、小松緑道(泉北5区)、助松緑道(泉北6区)、汐見緑道(泉北7区)において清掃を行う。

【事業費】

項目/年度	R01 (決算額)	R02 (決算額)	R03 (決算見込額)	R04 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	1,982	2,043	2,043	2,216	
うち市負担分(千円)	1,982	2,043	2,043	2,216	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R01年度 実績値	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 目標値
清掃実施回数	回	77	77	77	79
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
各港湾地区の不法投棄ごみの量に応じた清掃回数を実施したことにより、緑道・歩道の良好な環境を維持できた。					

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	汐見緑道(泉北7区)清掃では、年22回実施していたが、月に1回の時に間隔が空きゴミが散乱するため、令和4年度から清掃実施回数を2回増やし、月2回実施することとした。
--------	------------------------------------------------------------------------------------

【課題(問題点)】

課題(問題点)	現在、シルバー人材センターを活用し、港湾地区の緑道・歩道の美化に努めているが、当該地区においては、日常的に不法投棄やごみのポイ捨てなどが多くみられるため、利用者の美化意識の醸成に向けた意識啓発が必要である。
---------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 港湾地区内の緑道・歩道は市民がジョギングや散歩をするコースであり、常に良好な景観を維持する必要がある。 また、港湾地区は不法投棄ごみが非常に多いため、今後も清掃業務が必要である。
	改革・改善策等の具体的内容	

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	⑤コンパクトで居心地のよいまちづくり	③環境保全	1	公害防止対策の推進

事業名	公害測定事業	担当課名	環境課
-----	--------	------	-----

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)

大気汚染防止法・水質汚濁防止法・土壌汚染対策法・ダイオキシン類対策特別措置法・騒音規制法・振動規制法・悪臭防止法・特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法・水道法等に基づき、工場及び事業場等から大気中・公共用水域に排出されるばい煙・排水・悪臭の排出を規制するとともに、地下水の水質及び土壌の汚濁の防止を図り、騒音・振動について必要な規制を行ない、生活環境を保全し、市民の健康の保護に資することを目的とする。

(事業概要等)

大気汚染防止法・水質汚濁防止法・土壌汚染対策法・ダイオキシン類対策特別措置法・騒音規制法・振動規制法・悪臭防止法・特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法・水道法等に基づく事業場立ち入り・指導・規制事務、及び大気分析、河川水分析、自動車騒音測定業務

【事業費】

項目／年度	R01 (決算額)	R02 (決算額)	R03 (決算見込額)	R04 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	4,072	2,682	3,674	5,645	
うち市負担分(千円)	0	0	0	1,782	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R01年度 実績値	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 目標値
測定調査数	種類	4	3	5	3

(指標を設定できない理由)

(成果の概要)

事業所規制における水質の行政検査を行うことで、水質汚濁防止を図った。河川の水質検査を行い、水質汚濁状況の経年変化を検証した。騒音の常時監視を行い、道路騒音状況の経年変化を検証した。

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	
--------	--

【課題(問題点)】

課題(問題点)	
---------	--

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 事業所規制・指導事務については、公害関連法令に基づく事務であるとともに、大気、水質、騒音等の公害測定事業については、公害対策上基本的な指標となるものであり現行どおり継続して行っていく必要がある。
	改革・改善策等の具体的内容	

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	⑤コンパクトで居心地のよいまちづくり	③環境保全	②	ごみの減量化の推進

事業名	4R推進事業	担当課名	環境課
-----	--------	------	-----

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)

身近な環境を守り未来につながるまちをめざし、循環型社会の形成に向けて4Rに関する取り組みを推進し、ごみの排出抑制や更なる資源化を図る。

(事業概要等)

4R(リフューズ、リデュース、リユース、リサイクル)の推進に関する事業を実施する。
 公共施設への給水スポットの設置、夏休みエコバスツアーの開催、啓発グッズやパンフレットの作成、ごみ分別アプリや出前講座等の実施により、ごみ分別・削減への意識啓発を図る。
 また、ごみ拾いSNSアプリ「ピリカ」を活用し、環境美化活動の可視化と更なる活性化を図る。

項目／年度	R01 (決算額)	R02 (決算額)	R03 (決算見込額)	R04 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	2,510	2,563	2,276	3,009	
うち市負担分(千円)	0	0	0	0	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R01年度 実績値	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 目標値
エコバスツアー参加人数	人	28	0	0	30
ごみ拾いSNSアプリ「ピリカ」の新規利用アカウント数	人	16	13	9	20

(指標を設定できない理由)

(成果の概要)

ごみの減量化を推進し、資源化に対する理解を深め、市民のごみ問題やごみの減量に対する意識の向上が図れた。
 (令和2年度および3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、エコバスツアー事業は中止した。)

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	平成27年度から、夏休みに実施するエコバスツアーでは、リサイクル設備の見学場所は屋外であるため、見学時間を午後から午前に変更したが、毎年まったく同じ見学内容であるとの意見もあり、令和元年度から見学先を変更した。 平成30年度からは、ごみ分別アプリとごみ拾いSNSアプリ「ピリカ」を導入した。
--------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

【課題(問題点)】

課題(問題点)	ごみ拾いSNSアプリ「ピリカ」の利用者が少ないため、利用者を増やすための取り組みが必要である。
---------	-------------------------------------------------

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) ごみの減量化及び資源化を促進し、市民のごみ問題やごみの減量に対する意識の向上が図れた。
改革・改善策等の具体的内容		

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	⑤コンパクトで居心地のよいまちづくり	③環境保全	②	ごみの減量化の推進

事業名	ごみ減量機器購入助成事業	担当課名	環境課
-----	--------------	------	-----

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
身近な環境を守り未来につながるまちをめざし、一般家庭から排出される生ごみの減量化を促進し、市民のごみ問題やごみの減量に対する意識の向上を図る。

(事業概要等)
ごみ減量機器購入者に対し助成金を交付し、一般家庭から排出される生ごみの減量化及び資源化を促進する。
(購入費用の3分の2以内、上限40,000円)
また、市民のごみ問題やごみの減量に対する意識の向上を図る。

【事業費】

項目／年度	R01 (決算額)	R02 (決算額)	R03 (決算見込額)	R04 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	539	685	711	810	
うち市負担分(千円)	0	0	0	0	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R01年度 実績値	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 目標値
生ごみ処理機購入助成件数	件	16	24	28	30

(指標を設定できない理由)

(成果の概要)
ごみ減量機器購入者に対し助成金等の交付を行うことで、一般家庭から排出される生ごみの減量化及び資源化を促進し、市民に対してごみ減量の意識向上が図れた。

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	コンポスト購入助成については、数年助成金申請者がなく、一定の必要な対象にはいき渡ったため平成30年度より事業終了とした。
--------	--------------------------------------------------------------

【課題(問題点)】

課題(問題点)	
---------	--

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 生ごみ処理機の購入ニーズがある限り、事業を継続する。
改革・改善策等の具体的内容		

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	⑤コンパクトで居心地のよいまちづくり	③環境保全	②	ごみの減量化の推進

事業名	一般家庭ごみ減量化推進事業(地域環境基金活用事業)	担当課名	環境課
-----	---------------------------	------	-----

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)

身近な環境を守り未来につながるまちをめざし、家庭から出るごみの減量・分別、リサイクル意識の向上を図る。

(事業概要等)

家庭から出る可燃ごみについては、市の指定する有料の指定袋制とすることで、ごみの減量化に努めた。また、ごみの減量、分別、リサイクル意識の向上を図るため、適正に排出されていないごみについては、作製の注意シールを貼付するなどにより啓発を行う。

【事業費】

項目／年度	R01 (決算額)	R02 (決算額)	R03 (決算見込額)	R04 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	38,107	61,298	37,297	41,245	
うち市負担分(千円)	0	0	0	0	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R01年度 実績値	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 目標値
一般家庭ごみ(可燃ごみ)収集量	トン	10,551	10,675	10,610	10,600
一人一日あたりの可燃ごみ排出量	グラム	388	395	396	393

(指標を設定できない理由)

(成果の概要)

指定袋制を導入したことにより、ごみの減量に効果があった。
令和3年度の排出量は指定袋制導入前の平成21年度と比較して、約22パーセントの減量効果があった。

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	平成22年12月より有料指定袋制を導入した。 平成28年4月より容器包装プラスチックの分別開始によって可燃ごみ量が減ると予測されることから、平成27年10月から7.5リットル袋を流通させた。
--------	----------------------------------------------------------------------------------------------------

【課題(問題点)】

課題(問題点)	
---------	--

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 有料指定袋制の導入によるごみの減量効果は維持できている。
改革・改善策等の具体的内容		

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	⑤コンパクトで居心地のよいまちづくり	③環境保全	②	ごみの減量化の推進

事業名	一般家庭ごみ収集事業	担当課名	環境課
-----	------------	------	-----

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)

身近な環境を守り未来につながるまちをめざし、市民が安心快適に生活が営めるよう、可燃ごみの適切な処理体制の充実を図る。

(事業概要等)

市内の一般家庭等から排出される可燃ごみの収集運搬業務を委託する。
収集方法は戸別収集を原則とし、収集回数は週2回とする。

【事業費】

項目／年度	R01 (決算額)	R02 (決算額)	R03 (決算見込額)	R04 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	272,997	271,937	273,866	282,847	
うち市負担分(千円)	272,997	271,937	273,866	282,847	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R01年度 実績値	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 目標値
一般家庭可燃ごみ収集量	トン	10,551	10,675	10,610	10,600
1日1人あたりの可燃ごみ排出量	グラム	388	395	396	393

(指標を設定できない理由)

(成果の概要)

本業務に精通しているごみ収集業者が確実に業務を実施したことで、生活環境の保全及び公衆衛生の維持に寄与できた。

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	平成22年12月から有料指定袋制を導入。 平成28年4月から容器包装プラスチックの分別収集を開始。
--------	------------------------------------------------------

【課題(問題点)】

課題(問題点)	プラスチック資源循環促進法の施行により、容器包装系プラスチック以外のプラスチック製品の資源化が求められる。
---------	-------------------------------------------------------

【今後の方向性】

担当課の評価	B 改善し継続	(左記評価の理由) 更なるごみ減量に対する意識啓発を図るとともに、プラスチック資源循環促進法に係る対応について検討する。
改革・改善策等の具体的内容	容器包装系プラスチック以外のプラスチック製品の資源化については、受入先である泉北クリーンセンター並びに構成市である和泉市及び高石市との兼ね合いもあるため、今後協議を進めていく。	

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	⑤コンパクトで居心地のよいまちづくり	③環境保全	②	ごみの減量化の推進

事業名	資源ごみ収集事業	担当課名	環境課
-----	----------	------	-----

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)

身近な環境を守り未来につながるまちをめざし、資源の再利用を推進するため、市民及び事業者に分別収集の徹底を啓発し、焼却ごみ量を抑制し、再資源化を図る。

(事業概要等)

かん、びん、せともの類、古紙類、ペットボトル、容器包装プラスチックの資源ごみの収集運搬を委託する。収集回数はかん、びん、せともの類は月2～3回、古紙類は月2回、ペットボトル、容器包装プラスチックは週1回とする。

【事業費】

項目／年度	R01 (決算額)	R02 (決算額)	R03 (決算見込額)	R04 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	193,826	219,269	226,585	228,319	
うち市負担分(千円)	183,970	214,062	223,047	225,319	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R01年度 実績値	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 目標値
家庭系資源ごみの収集量	トン	2,500	2,509	2,497	2,500

(指標を設定できない理由)

(成果の概要)

かん、びん、ペットボトル、容器包装プラスチック、古紙等を回収することにより、資源の有効利用、リサイクルの推進が図れた。

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	平成22年9月から食品トレイの戸別収集を開始し、平成28年4月から容器包装プラスチック(食品トレイを含む。)の分別収集を開始した。
--------	-------------------------------------------------------------------

【課題(問題点)】

課題(問題点)	プラスチック資源循環促進法の施行により、容器包装系プラスチック以外のプラスチック製品の資源化が求められる。
---------	-------------------------------------------------------

【今後の方向性】

担当課の評価	B 改善し継続	(左記評価の理由) 焼却ごみ量を減らし、再資源化を推進するため、分別収集の徹底を図るとともに、プラスチック資源循環促進法に係る対応について検討する。
改革・改善策等の具体的内容	容器包装系プラスチック以外のプラスチック製品の資源化については、受入先である泉北クリーンセンター並びに構成市である和泉市及び高石市との兼ね合いもあるため、今後協議を進めていく。	

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	⑤コンパクトで居心地のよいまちづくり	③環境保全	②	ごみの減量化の推進

事業名	小型家電リサイクル推進事業	担当課名	環境課
-----	---------------	------	-----

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)

身近な環境を守り未来につながるまちをめざし、小型家電の再資源化を促進するため、経済的インセンティブを働かせ、ごみの減量化や資源再利用を推進するとともに、排出者の利便性の向上を図る。

(事業概要等)

小型家電リサイクル法の認定事業者のうち、宅配便による戸別回収を実施する事業者に対し補助金を交付する。

【事業費】

項目／年度	R01 (決算額)	R02 (決算額)	R03 (決算見込額)	R04 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	626	771	648	980	
うち市負担分(千円)	0	0	0	0	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R01年度 実績値	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 目標値
申込件数	件	860	1,261	1,086	1,069
申込箱数	箱	987	1,364	1,159	1,170
補助対象箱数	箱	894	1,102	925	974

(指標を設定できない理由)

(成果の概要)

これまでは、小型粗大ごみとして泉北クリーンセンターで処理されていたものが、認定事業者により資源化された。

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	平成29年度より、回収したパソコン・携帯電話から有用金属を取り出し、東京オリンピックのメダルをつくる「みんなのメダルプロジェクト」に賛同し、広報をおこなったことで、回収量が増加した(「みんなのメダルプロジェクト」については平成31年3月に終了した)。
--------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

【課題(問題点)】

課題(問題点)	
---------	--

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 利用拡大に向けて、今後もサービスの周知に努める。
	改革・改善策等の具体的内容	

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	⑤コンパクトで居心地のよいまちづくり	③環境保全	②	ごみの減量化の推進

事業名	食品ロス削減推進事業	担当課名	環境課
-----	------------	------	-----

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)

身近な環境を守り未来につながるまちをめざし、一般家庭から発生する食品ロスを削減するため、講座等を開催し、市民のごみ問題やごみの減量に対する意識啓発を図る。

(事業概要等)

エコや省エネに関する講座の実施、生ごみを出さない料理方法(食品ロス)などを学ぶ環境に優しい料理教室「エコクッキング教室」を開催する。

なお、講座の実施にあたっては、専門的な知識と技量を持った事業者に業務を委託する。

【事業費】

項目／年度	R01 (決算額)	R02 (決算額)	R03 (決算見込額)	R04 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	267	282	0	77	
うち市負担分(千円)	0	0	0	0	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R01年度 実績値	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 目標値
参加人数(エコクッキング教室)	人	66	0	0	0
参加人数(食ロス講座)	人	-	-	-	60

(指標を設定できない理由)

新型コロナウイルス感染拡大防止に伴い、エコクッキング教室事業を中止したため。

(成果の概要)

一般家庭から排出される生ごみの減量化及び資源化を促進し、市民のごみ問題やごみの減量に対する意識啓発が図れた。

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	
--------	--

【課題(問題点)】

課題(問題点)	
---------	--

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 令和3年度より、「エコクッキング事業」から「食品ロス削減推進事業」に移行し、食品ロス等のごみ問題やごみ減量に係る啓発に努める。
改革・改善策等の具体的内容	令和4年度は、小学生児童を対象に、カードゲームを用いて楽しみながら「食品ロス」について学ぶ講座を実施する。	

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	⑤コンパクトで居心地のよい まちづくり	③環境保全	②	ごみの減量化の推進

事業名	粗大ごみ収集事業	担当課名	環境課
-----	----------	------	-----

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)

身近な環境を守り未来につながるまちをめざし、粗大ごみの有料収集を維持するとともに、電話等予約制により、粗大ごみの収集運搬を効率的に行う。

(事業概要等)

粗大ごみを排出する市民が、電話等で粗大ごみ申込センターに申込みをした際、排出者に収集日を通知し、申込センターで収集計画を立て、委託業者に連絡する業務を委託する。
当該粗大ごみの収集および運搬についても業務委託とする。
また、粗大ごみに貼付する粗大ごみ収集券を市内及び隣接市の取扱店での販売を委託する。

【事業費】

項目／年度	R01 (決算額)	R02 (決算額)	R03 (決算見込額)	R04 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	36,626	40,333	40,463	41,366	
うち市負担分(千円)	27,056	28,933	29,498	30,716	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R01年度 実績値	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 目標値
粗大ごみ受付及び相談件数	件	10,353	11,347	10,620	10,773
粗大ごみ受付件数	件	9,520	11,230	10,515	10,422
インターネット受付件数の割合	件	1391(14.6)	2058(18.3%)	2144(20.3%)	2085(20.0)

(指標を設定できない理由)

(成果の概要)

効率よく収集でき、ごみが道路を長時間占拠することもなかった。

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	平成13年度からは電話申込制とし、平成16年度からは粗大ごみの有料化を実施した。 受付システムは、平成28年度にプロポーザルで選定して更新を行い、5年の長期継続契約を締結した。また、小型粗大ごみとして収集していた小型家電について、H28年4月より、小型家電リサイクル法の認定事業者と連携した分別回収を開始した。
--------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

【課題(問題点)】

課題(問題点)	小型家電リサイクル法の認定事業者との連携による回収については、インターネット申込が基本となるため、スマートフォンやパソコンの利用が難しい方はサービスの利用が困難である。
---------	--------------------------------------------------------------------------------------

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 予約者宅のみを効率よく収集でき、ごみが道路を長時間占拠することもなかった。
	改革・改善策等の具体的内容	

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	⑤コンパクトで居心地のよい まちづくり	③環境保全	2	良好な市街地の整備

事業名	不法広告物撤去事業	担当課名	環境課
-----	-----------	------	-----

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)

屋外広告物法、大阪府屋外広告物条例に基づき、屋外広告物の表示及び屋外広告物を掲出する物件の設置並びにこれらの維持について、規制、指導、除去を行うことで、良好な景観を形成し、若しくは風致を維持し、又は公衆に対する危害防止を目的とする。

(事業概要等)

屋外広告物の規制・指導事務、不法屋外広告物の簡易除去業務

【事業費】

項目／年度	R01 (決算額)	R02 (決算額)	R03 (決算見込額)	R04 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	1,096	1,067	1,127	731	
うち市負担分(千円)	0	0	0	0	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R01年度 実績値	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 目標値
撤去広告物数	枚・本・基	91	72	55	50

(指標を設定できない理由)

(成果の概要)

広告物の規制及び撤去等により、撤去広告物数は、年々減少傾向にあり、良好な風致の形成及び危害防止に寄与している。

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	特記事項なし。
--------	---------

【課題(問題点)】

課題(問題点)	特記事項なし。
---------	---------

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 法令・条例等に基づき、景観の形成、風致の維持、公衆衛生上、現行どおり継続する必要がある。
改革・改善策等の具体的内容		

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	⑤コンパクトで居心地のよい まちづくり	③環境保全	②	ごみの減量化の推進
事業名	有価物集団回収助成事業		担当課名	環境課

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)

身近な環境を守り未来につながるまちをめざし、ごみの分別収集の徹底を啓発し、焼却ごみ量を抑制し再資源化を図る。

(事業概要等)

集団回収実施団体が自主的に新聞、雑誌、ダンボール等の古紙を回収した場合に助成金の交付を行い、ごみの減量化、資源再利用、環境美化に対する市民意識の向上を図る。

【事業費】

項目／年度	R01 (決算額)	R02 (決算額)	R03 (決算見込額)	R04 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	16,565	14,111	13,849	25,000	
うち市負担分(千円)	11,832	10,079	9,892	16,000	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R01年度 実績値	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 目標値
集団回収量	トン	2,061	1,718	1,679	2,000
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
ごみの減量化、資源再利用、環境美化に対する市民意識の向上が図れた。					

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	「地域環境基金」を活用し、平成23年度より回収基本金を5円/kgから7円/kgに引き上げた。
--------	------------------------------------------------

【課題(問題点)】

課題(問題点)	広報紙、HP、出前講座等を通じ、新たな団体の登録を促すとともに、可能な限り集団回収に出してもらおうよう啓発を行う。
---------	-----------------------------------------------------------

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) ごみの減量化、資源再利用、環境美化に対する市民意識の向上が図れた。
改革・改善策等の具体的内容		

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	⑤コンパクトで居心地のよいまちづくり	③環境保全	③	まちなみ・景観美化の推進

事業名	し尿処理事業	担当課名	環境課
-----	--------	------	-----

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)

身近な環境を守り未来につながるまちをめざし、公共下水道未接続及び未整備地区のし尿処理の充実を図り、また、災害時浸水に伴う、し尿の適正処理及び環境衛生の確保を図る。

(事業概要等)

公共下水道未接続、及び未整備地区において、一般家庭のし尿汲取り業務を行った許可業者に対し、補助金を交付する。

【事業費】

項目／年度	R01 (決算額)	R02 (決算額)	R03 (決算見込額)	R04 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	4,778	6,769	6,574	7,570	
うち市負担分(千円)	4,778	6,769	6,574	7,570	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R01年度 実績値	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 目標値
収集量	kL	2,184	1,986	1,734	1,530

(指標を設定できない理由)

(成果の概要)

し尿の適正処理により、環境衛生の確保ができた。

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	平成29年度より、収集人口の減少に伴い収集経費の割合が困難となってきたため、くみ取り補助金を300円から350円とし、令和2年度(5月)からは、350円から550円に引き上げた。令和4年度は、必要経費を勘案した定額補助に見直した。
--------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

【課題(問題点)】

課題(問題点)	
---------	--

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 収集人口が減少するにつれ非効率な状況になっているが、費用面での業者の負担を改善した。
改革・改善策等の具体的内容		

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	⑤コンパクトで居心地のよい まちづくり	③環境保全	③	まちなみ・景観美化の推進
事業名	一般事務事業		担当課名	環境課

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)

身近な環境を守り未来につながるまちをめざし、市民が安心快適に生活が営めるよう、ごみ減量化及び資源化に係る総合調整を行い適切な企画の充実を図る。

(事業概要等)

ごみ及びし尿処理に関する相談、受付、苦情処理に係る業務のほか、ごみの収集計画、ごみ減量化対策及び資源化など総合企画調整に関する業務を行う。
また、「ごみゼロ大作戦」や「スポGOMI大会」の運営など、ごみ拾い活動の啓発に関する業務を行う。

【事業費】

項目／年度	R01 (決算額)	R02 (決算額)	R03 (決算見込額)	R04 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	2,878	2,880	2,878	3,458	
うち市負担分(千円)	2,384	2,532	2,526	2,896	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R01年度 実績値	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 目標値
スポごみ大会の参加人数	人	120	44	100	150
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
ごみ拾い活動の啓発を行い、まちをきれいにする意識と海洋漂着ごみ等のプラスチックごみの削減に係る意識の向上が図れた。					

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	新型コロナウイルス感染拡大防止に伴い、ごみゼロ大作戦の市内一斉清掃を個別清掃に変更し実施した。
--------	-------------------------------------------------

【課題(問題点)】

課題(問題点)	ごみゼロ大作戦の参加者(団体)が固定化傾向にあることから、募集方法を検討する必要がある。 スポごみ大会については、実施エリアが同じ場所であることから再検討が必要である。
---------	-----------------------------------------------------------------------------------------

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 海洋に流れ出すプラスチックごみの周知と、ごみ拾い活動をスポーツ競技として、楽しみながら参加できることで、海洋環境美化への意識の啓発を行うことができ、海洋漂着ごみやプラスチックごみの削減についての意識の向上を図れた。
改革・改善策等の具体的内容		

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	⑤コンパクトで居心地のよい まちづくり	③環境保全	3	まちなみ・環境美化の推進

事業名	環境保全対策事務事業	担当課名	環境課
-----	------------	------	-----

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)

鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律に基づく野生鳥獣の飼養登録、鳥獣の捕獲許可(鳥獣による生活環境、農林水産業又は生態系に関する被害の防止を目的とする。)及び環境保全条例に基づく空き地の適正管理により、環境保全を図る。

(事業概要等)

鳥獣の飼養登録・捕獲許可事務等の環境保全事業

【事業費】

項目／年度	R01 (決算額)	R02 (決算額)	R03 (決算見込額)	R04 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	11	16	107	86	
うち市負担分(千円)	0	0	41	0	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R01年度 実績値	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 目標値
鳥獣捕獲及び飼養許可件数	件	10	59	56	60
環境保全苦情処理件数	件	84	73	49	50

(指標を設定できない理由)

(成果の概要)

野生鳥獣の飼養登録、鳥獣の捕獲許可を行い、鳥獣保護を図った。

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	
--------	--

【課題(問題点)】

課題(問題点)	
---------	--

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律に基づく事務、環境保全条例空き地の適正管理事務については、環境保全上現行どおり継続して行っていく必要がある。
改革・改善策等の具体的内容		

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	⑤コンパクトで居心地のよい まちづくり	③環境保全	③	まちなみ・景観美化の推進

事業名	死獣収集事業	担当課名	環境課
-----	--------	------	-----

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)

身近な環境を守り未来につながるまちをめざし、まちなみや景観美化、環境衛生の維持を図る。

(事業概要等)

市内道路など、公共の場所において放置されている飼主不明の動物死体を収容し、火葬場へ運搬する業務を委託する。

【事業費】

項目／年度	R01 (決算額)	R02 (決算額)	R03 (決算見込額)	R04 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	4,429	4,737	4,511	4,511	
うち市負担分(千円)	4,312	4,404	4,406	4,406	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R01年度 実績値	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 目標値
回収頭数	頭	335	290	326	320

(指標を設定できない理由)

(成果の概要)

動物死体の迅速な収集処理が図れた。

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	平成29年度末までは、「下水道の整備等に伴う一般廃棄物処理業等の合理化に関する特別措置法」に基づく協定により業務委託していたが、平成30年度以降は市内の4業者の組合に随意契約により業務委託している。平成30年度から土日の収集も行えるよう委託内容を変更した。
--------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

【課題(問題点)】

課題(問題点)	
---------	--

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 動物死体の迅速な収集処理が図れた。
改革・改善策等の具体的内容		

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	⑤コンパクトで居心地のよい まちづくり	③環境保全	③	まちなみ・景観美化の推進

事業名	清掃分室維持管理事業	担当課名	環境課
-----	------------	------	-----

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)

身近な環境を守り未来につながるまちをめざし、不法投棄への対応を通して、まちなみ・景観美化の維持を図る。

(事業概要等)

清掃活動団体の活動の支援、不法投棄の啓発や監視を行い、即時処理、苦情処理の対応を行う。
また、不適正排出があった場合には、原因者と思われる住民(または当該場所の周辺住民)に啓発を行う。

【事業費】

項目／年度	R01 (決算額)	R02 (決算額)	R03 (決算見込額)	R04 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	9,441	8,021	702	1,238	
うち市負担分(千円)	9,441	8,021	702	1,238	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R01年度 実績値	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 目標値
環境美化、不法投棄等ごみ収集量	トン	6	4	3	4

(指標を設定できない理由)

(成果の概要)

衛生委員会、各清掃活動団体の環境美化活動の推進が図れた。
ごみ集積所の排出者のへの指導により、分別の推進が図れた。

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	
--------	--

【課題(問題点)】

課題(問題点)	
---------	--

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 衛生委員会、各清掃活動団体の環境美化活動の推進が図れた。 ごみ集積所の排出者のへの指導により、分別の推進が図れた。
	改革・改善策等の具体的内容	

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	⑤コンパクトで居心地のよいまちづくり	③環境保全	3	まちなみ・環境美化の推進

事業名	団体等育成支援事業	担当課名	環境課
-----	-----------	------	-----

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)

衛生委員会・公衆浴場業生活衛生同業組合の活動を支援し、環境美化・公衆衛生の向上及び増進を図る。

(事業概要等)

公衆衛生の向上及び公衆浴場業の確保のための特別措置法に基づき公衆浴場生活衛生同業組合の支援を図るとともに環境美化、環境衛生の向上のため衛生委員会に対する支援を図る。

【事業費】

項目／年度	R01 (決算額)	R02 (決算額)	R03 (決算見込額)	R04 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	1,020	1,047	926	1,126	
うち市負担分(千円)	1,020	1,047	926	1,126	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R01年度 実績値	R02年度 実績値	R03年度 目標値	R04年度 目標値
補助金額	千円	862	862	862	862

(指標を設定できない理由)

(成果の概要)

環境美化、公衆衛生の向上及び増進並びに住民福祉の向上に寄与するとともに、環境啓発及び公衆衛生思想の普及に効果がある。

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	
--------	--

【課題(問題点)】

課題(問題点)	
---------	--

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 環境美化、公衆衛生の向上及び増進並びに住民福祉の向上を図るため、現行どおり継続して行っていく必要がある。
	改革・改善策等の具体的内容	

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	⑤コンパクトで居心地のよい まちづくり	③環境保全	③	まちなみ・景観美化の推進

事業名	中央公衆便所維持管理事業	担当課名	環境課
-----	--------------	------	-----

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)

身近な環境を守り未来につながるまちをめざし、廃棄物の処理及び清掃に関する法律第5条第6項に規定される公衆便所を大津神社境内に設置し、公衆衛生の維持を図る。

(事業概要等)

利用頻度の高い大津神社内の中央公衆便所を維持するため、光熱水費の支払いや清掃業務を委託し、清潔の維持を図る。

【事業費】

項目／年度	R01 (決算額)	R02 (決算額)	R03 (決算見込額)	R04 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	1,035	1,359	1,910	935	
うち市負担分(千円)	1,035	1,075	1,040	935	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R01年度 実績値	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 目標値
利用者推計として、水道使用量	m ³	225	119	103	220

(指標を設定できない理由)

(成果の概要)

利用しやすい公衆便所としての維持管理が図れた。

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	大津神社から賃借した土地上に施設を設置しているため、土地賃借料は毎年協議を行っていたが、平成28年度より固定資産税の評価額に基づいて賃借料を算定することとした。 また、悪戯による破損被害の発生のため、付近2地点に防犯カメラを設置した。 令和3年度には、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から和式トイレを洋式トイレに変更した。
--------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

【課題(問題点)】

課題(問題点)	洗面台の排水管の腐食が進んでいるなど、施設の老朽化が進んでいることから今後、修繕費が必要となる。
---------	--------------------------------------------------

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 公衆便所として、市内中央に位置し、バリアフリーであり利用頻度が高い。
改革・改善策等の具体的内容		

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	⑤コンパクトで居心地のよい まちづくり	③環境保全	③	まちなみ・景観美化の推進

事業名	不法投棄防止啓発事業	担当課名	環境課
-----	------------	------	-----

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)

身近な環境を守り未来につながるまちをめざし、家庭ごみの有料化に伴う不法投棄防止対策及び環境美化の推進を図る。

(事業概要等)

地域環境基金を活用し、市内全域において不法投棄監視パトロールを行う。
また、啓発看板を設置することで、ごみの減量・分別への意識啓発及び不法投棄を抑止する。

【事業費】

項目／年度	R01 (決算額)	R02 (決算額)	R03 (決算見込額)	R04 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	1,166	1,228	1,088	1,080	
うち市負担分(千円)	0	0	0	0	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R01年度 実績値	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 目標値
不法投棄パトロール報告件数	件	501	463	468	477
環境美化、不法投棄等ごみ収集量	トン	6	4	3	4

(指標を設定できない理由)

(成果の概要)

泉大津市衛生委員会に不法投棄監視パトロール業務を委託し、市内巡回パトロールを行うことで、違反ごみ、不法投棄ごみに対し、迅速に対応できた。

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	平成22年度の可燃ごみ有料化時に、パトロールを強化するため地域の実態を把握している衛生委員会へ委託した。
--------	------------------------------------------------------

【課題(問題点)】

課題(問題点)	
---------	--

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 不法投棄を未然に防止するため、ごみの適正処理に係る更なる啓発に努める。
改革・改善策等の具体的内容		

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	⑤コンパクトで居心地のよい まちづくり	③環境保全	4	地球環境の保全

事業名	仲よし学級運営事業	担当課名	スポーツ青少年課
-----	-----------	------	----------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)

留守家庭児童会(仲よし学級)の児童を対象に、環境問題に関する学習の機会を設け、地球環境保全の重要性について啓発を行う。

(事業概要等)

- ・環境学習講座の実施
- ・環境学習関連図書の購入

【事業費】

項目/年度	R01 (決算額)	R02 (決算額)	R03 (決算見込額)	R04 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	1,397	1,087	1,383	922	
うち市負担分(千円)	0	0	0	0	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R01年度 実績値	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 目標値
参加延べ人数	人	464	340	720	700
講座実施回数	回	24	24	40	16

(指標を設定できない理由)

(成果の概要)

小学校4年生程度を対象にした講座から、R3年度は新たに小学1、2年生でも参加できる食品ロスに関する講座を取り入れたことで、参加人数や講座実施回数が飛躍的に増えた。

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	低学年でも参加しやすい講座にするため、ゲームを通して環境学習を学ぶ講座にした。
--------	-----------------------------------------

【課題(問題点)】

課題(問題点)	講座内容について、ゲーム性の強い講座を実施するなど、もっとわかりやすく、継続して関心につながる取組を実施すべきである。
---------	-------------------------------------------------------------

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 低学年から高学年まで興味・関心を持ってもらえるよう、毎年講座内容の見直しを行うことで、参加児童からも「楽しかった」という感想を得ており、本事業の継続により児童の環境問題への取組に結びついている。
改革・改善策等の具体的内容		

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	⑤コンパクトで居心地のよいまちづくり	③環境保全	④	地域環境の保全

事業名	LED照明整備事業	担当課名	資産活用課
-----	-----------	------	-------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
蛍光灯をLED照明に更新することで、省エネルギーやCO ² 削減など環境負荷を低減し、市有施設利用者への環境意識向上を図る
(事業概要等)
市有建築物の蛍光灯をLED照明に更新する。

【事業費】

項目／年度	R01 (決算額)	R02 (決算額)	R03 (決算見込額)	R04 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	27,883	14,362	8,117	0	
うち市負担分(千円)	27,883	14,362	8,117	0	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R01年度 実績値	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 目標値
LED照明設置数	基	842	685	345	0
削減された消費電力量	kwh/年	39,574	32,195	16,215	0
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
令和3年度はLED照明への更新により、試算上、年間電気使用量16,215kwh,CO ² が8.3t削減された。					

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	
--------	--

【課題(問題点)】

課題(問題点)	
---------	--

【今後の方向性】

担当課の評価	D 休止・廃止	(左記評価の理由) 令和4年度は予算が0のため、休止とする。
	改革・改善策等の具体的内容	

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	⑤コンパクトで居心地のよいまちづくり	③環境保全	④	地球環境の保全

事業名	雨水タンク購入助成事業	担当課名	環境課
-----	-------------	------	-----

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
身近な環境を守り未来につながるまちをめざし、総合的な治水対策及び資源の有効利用の一環として、雨水の流出抑制と有効利用を図るため、雨水タンクを設置する者に対し補助金を交付する。
(事業概要等)
雨水の有効利用を図るため、自宅建物の雨どい等に雨水タンクを接続し、貯留した雨水を庭木への散水用として使用してもらうことで雨水の有効利用を図る。

【事業費】

項目／年度	R01 (決算額)	R02 (決算額)	R03 (決算見込額)	R04 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	33	57	121	200	
うち市負担分(千円)	0	0	0	0	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R01年度 実績値	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 目標値
雨水タンク購入補助金交付件数	件	3	4	7	10
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
雨水タンクを設置する者に対して、補助金を交付することにより、総合的な治水対策及び資源の有効利用の促進を図った。					

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	
--------	--

【課題(問題点)】

課題(問題点)	
---------	--

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 雨水の流出抑制と有効利用を図るとともに、エコに対する環境意識の向上のため、継続して行っていく必要がある。
	改革・改善策等の具体的内容	

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	⑤コンパクトで居心地のよいまちづくり	③環境保全	④	地球環境の保全

事業名	高効率エネルギーシステム設置助成事業	担当課名	環境課
-----	--------------------	------	-----

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
身近な環境を守り未来につながるまちをめざし、地球温暖化防止対策の一環として、市民の自主的な取組を積極的に支援し、環境への負荷の少ない循環型社会に変革する環境保全意識の高揚を図るため、高効率給湯器を設置する者に対し補助金を交付する。
(事業概要等)
地球温暖化防止対策のため、エコジョーズ、エコキュート及びエネファーム等の高効率給湯器の設置者に対して助成を行い、省エネルギー設備の普及促進により、温室効果ガスの排出量削減を図る。(エコジョーズ上限10,000円、エコキュート上限20,000円、エネファーム50,000円)

【事業費】

項目／年度	R01 (決算額)	R02 (決算額)	R03 (決算見込額)	R04 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	3,090	4,570	3,660	4,200	
うち市負担分(千円)	0	0	0	0	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R01年度 実績値	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 目標値
高効率給湯器設置補助金補助件数	件	136	179	153	176
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
高効率給湯器を設置する者に対して、補助金を交付することにより、温室効果ガス排出量の削減と環境保全意識の高揚を図った。					

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	補助対象機器の見直し(令和2年4月1日要綱改正)
--------	--------------------------

【課題(問題点)】

課題(問題点)	
---------	--

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 地球温暖化防止対策として、市民の環境意識の向上のために有効な施策であるため、現行通り継続して行っていく必要がある。
	改革・改善策等の具体的内容	

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	⑤コンパクトで居心地のよい まちづくり	③環境保全	④	地球環境の保全

事業名	自転車活用促進事業	担当課名	環境課
-----	-----------	------	-----

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)

身近な環境を守り未来につながるまちをめざし、子育て中の世帯に対し幼児2人同乗用自転車の購入助成を行うことで、子育て世帯にも安心安全な自転車の利用を促進し、環境に配慮するとともに子どもにやさしいまちづくりを推進することを目的とする。

(事業概要等)

幼児2人同乗用自転車の購入者に助成を行う。(補助率1/2、電動アシスト機能なし上限30,000円、電動アシスト機能あり上限45,000円)

【事業費】

項目／年度	R01 (決算額)	R02 (決算額)	R03 (決算見込額)	R04 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	3,273	2,858	3,225	4,000	
うち市負担分(千円)	0	0	0	0	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R01年度 実績値	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 目標値
幼児2人同乗用自転車購入助成金交付件数	件	77	66	74	93

(指標を設定できない理由)

(成果の概要)

幼児2人同乗用自転車の購入者に助成することで、子育て支援を行うとともに、自動車利用を抑制し、温室効果ガスの排出量の削減により、地球温暖化対策を図った。

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	令和3年度まで、自転車購入前に事前申込(年3回募集)が必要であったが、市民の利便性向上と事務の簡素化を図るため、令和4年度から購入後の事後申請(通年受付)とした。
--------	-----------------------------------------------------------------------------------

【課題(問題点)】

課題(問題点)	購入した年度内に申請することとなっているが、新年度が始まる前(2~3月)に購入する家庭も多く納品の遅れ等があれば手続きに時間的余裕がない場合がある。
---------	----------------------------------------------------------------------------

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 幼児2人同乗用自転車の普及により、自動車利用を抑制することにより温室効果ガス排出量を削減するとともに、安全で子どもにやさしいまちづくりを推進していくため、現行どおり継続して実施していく必要がある。
	改革・改善策等の具体的内容	

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	⑤コンパクトで居心地のよいまちづくり	③環境保全	④	地球の保全

事業名	住宅用太陽光システム設置補助事業	担当課名	環境課
-----	------------------	------	-----

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)

身近な環境を守り未来につながるまちをめざし、地球温暖化防止対策を推進し、持続可能な低炭素社会を形成するため、住宅用太陽光発電システムを設置する者に対し補助金を交付することにより、本市における自然エネルギーの活用を促進するとともに、市民の自主的な環境保全に関する取組を支援することを目的とする。

(事業概要等)

地球温暖化防止対策のため、住宅用太陽光発電システム設置者に対して補助を行い、再生可能エネルギー設備の普及促進により、温室効果ガスの排出量削減を図る。(出力1kw当たり15,000円、上限90,000円)

【事業費】

項目／年度	R01 (決算額)	R02 (決算額)	R03 (決算見込額)	R04 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	2,383	3,135	2,280	3,000	
うち市負担分(千円)					

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R01年度 実績値	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 目標値
住宅用太陽光発電システム設置補助金交付件数	件	37	43	29	50

(指標を設定できない理由)

(成果の概要)

住宅用太陽光発電システムを設置する者に対し、補助金を交付することにより、再生可能エネルギー設備の普及促進により、温室効果ガスの排出量削減を図った。

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	
--------	--

【課題(問題点)】

課題(問題点)	
---------	--

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 地球温暖化防止対策及び市民の環境意識の高揚を図るために有効な施策であるため、現行どおり継続して実施していく必要がある。
	改革・改善策等の具体的内容	

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	⑤コンパクトで居心地のよい まちづくり	③環境保全	④	地球環境の保全

事業名	新エネルギー導入促進事業	担当課名	環境課
-----	--------------	------	-----

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)

身近な環境を守り未来につながるまちをめざし、省エネルギー・再生可能エネルギーに対する理解と知識を深める機会として、環境教育やCOOL CHOICEアプリなどを通じ、市民や企業等に対して普及啓発を行い、市民一人ひとりの環境に対する意識の向上を図ることを目的とする。

(事業概要等)

学童保育・就学前施設等での環境学習、WEBセミナー、アプリを活用した啓発等を通じて、市民一人ひとりの環境に対する意識の向上を図る。また、これまでの本市の取組み、国の動向、法改正等を鑑み、2050年までの脱炭素社会の実現には再生エネルギーの利用が不可欠なことから、本市における再生可能性エネルギーに係る調査、脱炭素化に向けたロードマップの策定などを進め、環境基本計画へと反映させる。

【事業費】

項目／年度	R01 (決算額)	R02 (決算額)	R03 (決算見込額)	R04 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	2,383	10,872	10,076	13,264	
うち市負担分(千円)	0	0	0	0	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R01年度 実績値	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 目標値
環境教育等実施回数	回	17	26	36	20
COOL CHOICEアプリダウンロード数	件	-	103	97	200

(指標を設定できない理由)

(成果の概要)

省エネ・再生可能エネルギーに対する理解と知識を深める機会として、環境教育やCOOL CHOICEアプリなどを通じ、市民や企業等に対して普及啓発を行うことにより、市民一人ひとりの環境に対する意識の向上を図った。

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	地球温暖化防止対策に資する啓発事業について、対面でのイベント等を主として展開してきたが、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、COOL CHOICEアプリの開発や、WEBを活用したセミナーや環境学習等、新しい手法での啓発を実施した。
--------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

【課題(問題点)】

課題(問題点)	「2050年ゼロカーボンシティ」を実現するためには、省エネルギー・再生可能エネルギーに関する取組をさらに推進する必要がある。
---------	----------------------------------------------------------------

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 一人でも多くの人に環境に対する意識の向上を図るため、地球温暖化防止対策の普及啓発活動を継続して実施していく必要がある。
	改革・改善策等の具体的内容	

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	⑤コンパクトで居心地のよいまちづくり	③環境保全	4	地球環境の保全

事業名	生垣設置奨励事業	担当課名	都市づくり政策課
-----	----------	------	----------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
各家庭での緑化を推進し、住宅街に緑をもたらすなど景観の形成に寄与するとともに、温暖化対策や二酸化炭素の削減等を図るため、生垣を新たに設置する市民に対し補助を行う。
(事業概要等)
生垣の設置に対し補助金を交付することにより、各家庭での緑化を推進し、景観の形成や温暖化対策を図る。

【事業費】

項目／年度	R01 (決算額)	R02 (決算額)	R03 (決算見込額)	R04 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	0	0	15	—	令和4年4月1日 付で事業廃止
うち市負担分(千円)	0	0	0	—	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R01年度 実績値	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 目標値
助成件数	件	0	0	1	—
(指標を設定できない理由)					
令和4年4月1日付で事業を廃止したため					
(成果の概要)					
助成することにより、各家庭での緑化を推進し、景観の形成や温暖化対策を図ることができた。					

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	令和元年度に補助内容を緑化樹等の配布から、補助金の交付に制度を変更し補助の利便性の向上等を図るも依然、申請実績がない状況が続いたため、令和4年4月1日付で事業を廃止した。
--------	---------------------------------------------------------------------------------------

【課題(問題点)】

課題(問題点)	近年の住宅事情として、敷地の外構をアルミやネットフェンス、オープン外構等にすることが主流となっており、当該事業の補助対象である生垣を設置する家庭が非常に少ないことから、事業の公益性や必要性、公平性等で問題がある。
---------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------

【今後の方向性】

担当課の評価	D 休止・廃止	(左記評価の理由) 申請実績が無い状況が長く続いたことから、事業の公益性や必要性、公平性等の視点から検討し、廃止とした。
改革・改善策等の具体的内容	昭和53年度に事業実施、平成17年度から30年度まで申請実績が無い状況が続いたため、令和元年度に補助内容を見直し、補助の利便性の向上等を図るも依然、申請実績がない状況が続いたため、令和3年度を以て事業を廃止。当該事業の目的である各家庭での緑化推進については泉大津市緑化推進記念樹等助成事業にて行うこととした。	

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	⑤コンパクトで居心地のよい まちづくり	③環境保全	④	地球環境の保全

事業名	緑のカーテン推進事業	担当課名	環境課
-----	------------	------	-----

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)

身近な環境を守り未来につながるまちをめざし、環境になるべく負荷のかけない緑のカーテンを各公共施設に設置することにより、地球温暖化防止対策の普及啓発を目的とする。

(事業概要等)

つる性植物を用いて緑のカーテンを設置することにより、植物自体の光合成及び室内温度の上昇を抑えエアコン等の使用時間の減少による温室効果ガスの排出量を削減することは、地球温暖化防止対策に有効であるため、各公共施設に設置し、市民に啓発を行い、各家庭での普及促進を図る。

【事業費】

項目／年度	R01 (決算額)	R02 (決算額)	R03 (決算見込額)	R04 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	732	905	725	320	
うち市負担分(千円)	0	0	0	0	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R01年度 実績値	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 目標値
緑のカーテン設置箇所	箇所	15	21	18	10

(指標を設定できない理由)

(成果の概要)

緑のカーテンを各公共施設に設置することで、温室効果ガスの削減と市民の環境意識への啓発を行い、地球温暖化防止対策を図った。

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	緑のカーテンの設置・撤収作業を業務委託していたが、令和4年度より、各公共施設へ苗・プランター等の物品を配布し、施設職員が設置することとした。
--------	------------------------------------------------------------------------

【課題(問題点)】

課題(問題点)	設置・撤収作業業務委託を取りやめたことから、施設職員による設置等の作業が増えたため、設置箇所数の減少が見込まれる。
---------	-----------------------------------------------------------

【今後の方向性】

担当課の評価	B 改善し継続	(左記評価の理由) 地球温暖化防止対策及び環境教育に有効な手段であるため継続して実施していく必要があるが、設置箇所数の減少が見込まれるため、設置方法等について検討が必要となる。
	改革・改善策等の具体的内容	

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	⑤コンパクトで居心地のよい まちづくり	③環境保全	4	地球環境の保全
事業名	緑化推進記念樹等助成事業		担当課名	都市づくり政策課

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)

身近な環境を守り未来につながるまちをめざし、子どもの誕生を祝し、記念となる樹木を購入することについて、その一部を助成することにより、みどりに対して愛着を持ってもらい緑化の推進を図ることを目的とする。

(事業概要等)

子どもの誕生の記念となる樹木を購入することについて、その一部を助成する。

【事業費】

項目／年度	R01 (決算額)	R02 (決算額)	R03 (決算見込額)	R04 (予算額)	備考
事業費総額(千円)		22	84	1,200	
うち市負担分(千円)		0	0	0	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R01年度 実績値	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 目標値
助成件数			11	42	600

(指標を設定できない理由)

(成果の概要)

助成することにより、樹木の購入を後押しし、みどりに対しての愛着の向上と緑化の推進を図ることができた。

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	令和3年度より、制度の認知度の向上のため、保健センターで実施している4か月児健診の際にチラシ案内を追加で実施した。また同年度より、手続き簡素化のためオンライン申請を可能とする体制を構築した。
--------	-------------------------------------------------------------------------------------------------

【課題(問題点)】

課題(問題点)	出生件数から比較すると今年度においても助成の件数が少ないため引き続き制度の認知度の向上を行っていく必要がある。また、より多くの人にみどりに対する愛着を持ってもらうため、申請対象者の幅を広げることについても検討する必要がある。
---------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

【今後の方向性】

担当課の評価	B 改善し継続	(左記評価の理由) みどりに対してより多くの人に愛着を持ってもらい、緑化の推進を図る必要がある。
改革・改善策等の具体的内容	より多くの人にみどりに対する愛着を持ってもらうため、新たに泉大津市内における住居の新築、購入に際しても助成券を配布できるように制度の見直しを行う。また、制度対象が増えたことについて周知を行うため、都市づくり政策課で実施している住居附番通知申請の際にチラシ案内を追加で実施する。	

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	⑤コンパクトで居心地のよい まちづくり	③環境保全	4	地球環境の保全

事業名	剪定枝活用事業	担当課名	都市づくり政策課
-----	---------	------	----------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)	身近な環境を守り未来につながるまちをめざし、ゴミ処分量の減少と資源の再利用を図り環境保全に努める。
(事業概要等)	街路樹や公園等から発生した剪定枝等をリサイクルしたチップを、植樹柵等へ敷設し、雑草の抑制を図る。

【事業費】

項目／年度	R01 (決算額)	R02 (決算額)	R03 (決算見込額)	R04 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	1,600	2,000	1,500	2,000	
うち市負担分(千円)	0	0	0	0	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R01年度 実績値	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 目標値
リサイクル量	t	124			
マルチング材敷設面積	m ²		504	396	380
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
剪定枝を再利用したマルチング材を活用することによるリサイクル推進、及び市道雑草抑制による市域美化に努めることができた。					

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	ゴミの焼却量の減少を図るため、令和元年度まで市内の公園・街路樹等から発生した除草・剪定ゴミについてリサイクル施設への搬入を行ってきたが、令和2年度以降においては、市道の植樹帯へのマルチング材敷設へ内容変更を行い、剪定枝再利用によるリサイクル推進及び市道の雑草抑制による市域美化を進めることができた。
--------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

【課題(問題点)】

課題(問題点)	
---------	--

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 市道全路線の植樹帯へ、マルチング材を敷設する計画であるため、継続して実施する。
改革・改善策等の具体的内容		

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	⑤コンパクトで居心地のよいまちづくり	④道路・交通	①	安全な道路空間の整備

事業名	めいわく駐車対策事業	担当課名	土木課
-----	------------	------	-----

【事業の概要】

<p>(事業の目的・趣旨)</p> <p>交通渋滞や交通事故の原因となる違法駐車車両に対して注意勧告を行い、歩行者の安全と交通の円滑化を確保する。</p>
<p>(事業概要等)</p> <p>泉大津警察署・泉大津交通安全協会と協働で、市内一円の生活道路を巡回し、めいわく駐車車両に対して警告をおこなう。 また、路上に放置されている自動車について、レッカー移動・処分をおこなう。</p>

【事業費】

項目／年度	R01 (決算額)	R02 (決算額)	R03 (決算見込額)	R04 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	10	0	0	54	
うち市負担分(千円)	10	0	0	54	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R01年度 実績値	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 目標値
放置自動車処分台数	台	0	0	0	0
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
めいわく駐車車両に対しての定期的な警告指導により、放置自動車処分台数が0台となっている。					

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	
--------	--

【課題(問題点)】

課題(問題点)	
---------	--

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) めいわく駐車車両に対しての定期的な警告指導により、放置自動車処分台数は0台となっているが、今後とも継続する必要がある。
改革・改善策等の具体的内容		

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	⑤コンパクトで居心地のよい まちづくり	④道路・交通	①	安全な道路空間の整備

事業名	自転車ネットワーク整備事業	担当課名	土木課
-----	---------------	------	-----

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)

歩行者、自転車、自動車を区分し、歩行者・自転車利用者の快適で安全な自転車通行空間を確保するために事業を行う。

(事業概要等)

車道に自転車通行帯を表記し、走行空間を施工する。

【事業費】

項目／年度	R01 (決算額)	R02 (決算額)	R03 (決算見込額)	R04 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	31,329	27,931	7,691	33,670	
うち市負担分(千円)	31,329	27,931	7,691	31,080	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R01年度 実績値	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 目標値
自転車ネットワーク計画路線の整備率(16,740m) [既整備済6,120m含。未認可路線不含。]	%	54	64	64	67

(指標を設定できない理由)

(成果の概要)

平成28年度より事業実施。整備済延長は、森9号線1,060m、泉大津中央線1,800m、南海中央線2,200m、助松千原線1,060m、泉大津池浦線1,660m、助松式内線3,060mの合計10,840mとなる。令和3年度は南海中央線(未整備区間)の設計を実施し、令和4年度より整備工事を予定。

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	
--------	--

【課題(問題点)】

課題(問題点)	計画的に整備を進めるには、国費・事業費の確保が必須である。
---------	-------------------------------

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 交通体系での安全安心に直結する事業として整備を進める必要があるため。
改革・改善 策等の具体的 内容		

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	⑤コンパクトで居心地のよいまちづくり	④道路・交通	①	安全な道路空間の整備
事業名	小松町4号線道路改良事業		担当課名	都市づくり政策課

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
住みやすさと優しさを次世代へと引継ぐまちをめざし、駅周辺整備として、市民会館跡地周辺の利便性向上と活性化を促し、防潮堤改良により、維持管理性能の向上を図る。
(事業概要等)
府道大阪臨海線沿いには、津波および高潮対策の防潮堤があり、小松町4号線と臨海線の接続部には、手動式鉄扉がある。台風時には、進路予測に基づき、警察の交通規制と連携を図りながら、市職員の操作により閉鎖している。しかし、地震による津波の際には、鉄扉閉鎖の対応が困難になることが想定されるため、小松町4号線沿いを擁壁と盛土構造とすることで、津波の際に、人的対応が不要となる構造とするものである。この改良と併せて、泉大津駅西地区の交通利便性の向上を図るため、一方通行から対面通行へ変更する。

【事業費】

項目／年度	R01 (決算額)	R02 (決算額)	R03 (決算見込額)	R04 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	25	26,321	40,644	247,878	
うち市負担分(千円)	25	15,615	21,185	183,770	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R01年度 実績値	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 目標値
道路の整備率	%	0	6	15	87
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
小松町4号線等の道路整備工事の一部を実施した。					

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	
--------	--

【課題(問題点)】

課題(問題点)	
---------	--

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 令和3年度から令和4年度の債務負担行為による工事であり、引き続き工事を進める必要がある。
改革・改善策等の具体的内容		

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	⑤コンパクトで居心地のよいまちづくり	④道路・交通	①	安全な道路空間の整備

事業名	地籍調査整備事業	担当課名	土木課
-----	----------	------	-----

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)	国土調査法に基づき、市が主体的に隣接土地所有者と官民境界の確認を図る。
(事業概要等)	国土調査法に基づき、市が主体的に隣接土地所有者を調査し、現地にて境界について協議し、官民双方で境界について確認する。

【事業費】

項目／年度	R01 (決算額)	R02 (決算額)	R03 (決算額)	R04 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	5,368	36	2,630	6,211	
うち市負担分(千円)	1,474	36	692	1,617	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R01年度 実績値	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 目標値
地籍調査済面積	m ²	500	0	150	300
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
令和3年度は下条町の一部で街区境界調査を行った。					

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	公共施設適正配置基本計画等も鑑み、適正な土地活用が図れるように調査区域を選定した。
--------	-------------------------------------------

【課題(問題点)】

課題(問題点)	市域すべてを完了するのに長期間を要する。
---------	----------------------

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 地籍調査を推進していくことは災害時の復旧等を迅速に行うため土地の権利関係を明確にした現地復元性のある地図を備えるため。
改革・改善策等の具体的内容		

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	⑤コンパクトで居心地のよいまちづくり	④道路・交通	①	安全な道路空間の整備

事業名	道路・法定外公共物明示境界確定事業	担当課名	土木課
-----	-------------------	------	-----

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)	道路及び法定外公共物の境界を確定する。
(事業概要等)	土地所有者が公共用地境界明示申請書を提出し、現場立会を行い公共用地境界確定図を交付する。

【事業費】

項目／年度	R01 (決算額)	R02 (決算額)	R03 (決算額)	R04 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	1,219	97	173	167	
うち市負担分(千円)	1,219	97	173	167	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R01年度 実績値	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 目標値
公共用地境界明示交付件数	件	110	61	84	100
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
令和3年度は84件の公共用地の境界が確定した。					

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	事務処理マニュアル等を作成し、申請書類の確認や確定図作成時のチェック等を複数人にて行っている。
--------	-------------------------------------------------

【課題(問題点)】

課題(問題点)	境界確定には専門的な判断や経験が必要であり、今後これらの知識をどのように伝承するかが課題である。
---------	--------------------------------------------------

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 公共用地境界は市と土地所有者が対等な立場で協議し合意に達した場合に成立するものであり、道路等管理者としての市と隣接土地所有者との契約行為であり、今後も現行どおりと考える。
改革・改善策等の具体的内容		

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	⑤コンパクトで居心地のよいまちづくり	④道路・交通	①	安全な道路空間の整備

事業名	道路用地整備事業	担当課名	土木課
-----	----------	------	-----

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)	市道路敷内に存する個人所有地の権原を取得する。
(事業概要等)	市道路敷内に存する個人所有地の寄附申請及び用地買収に伴う現地測量及び地積測量図等の登記書類を作成し、市道路敷の権原取得を図る。

【事業費】

項目／年度	R01 (決算額)	R02 (決算額)	R03 (決算額)	R04 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	2,578	1,938	1,441	2,000	
うち市負担分(千円)	2,578	1,938	1,441	2,000	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R01年度 実績値	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 目標値
道路用地取得面積	m ²	344	230	570	200
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
市道路敷を構成している個人所有地を寄附受納等により権原を取得し、市道の保全が図れた。					

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	道路用地の寄附申請の簡素化を図った。
--------	--------------------

【課題(問題点)】

課題(問題点)	事務処理には専門的な判断や経験が必要であり、今後これらの知識をどのように伝承するかが課題である。
---------	--------------------------------------------------

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 道路法に規定により、市道の敷地等について道路管理者が所有権、使用权等の権原を取得する必要がある現行どおり行う必要がある。
改革・改善策等の具体的内容		

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	⑤コンパクトで居心地のよいまちづくり	④道路・交通	①	安全な道路空間の整備
事業名	放置自転車等対策事業		担当課名	土木課

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)

駅周辺道路等における自転車等の放置防止に対する措置を講ずることにより歩行者等の安全な通行と災害時における防災活動の確保を図るとともに良好な生活環境を保持することを目的とする。

(事業概要等)

南海本線3駅周辺の放置自転車禁止区域において、自転車が放置されないように指導啓発を行い、なおかつ放置される自転車を撤去・移動し、保管・返却を行う。引取りが無い場合はリサイクル又は廃棄処分を行う。また、南海本線泉大津駅、松ノ浜駅高架下へ駐輪場の整備を行い、管理運営は、指定管理者制度を導入している。

【事業費】

項目／年度	R01 (決算額)	R02 (決算額)	R03 (決算見込額)	R04 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	49,022	49,221	29,203	14,684	
うち市負担分(千円)	49,022	49,221	29,203	14,684	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R01年度 実績値	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 目標値
放置自転車指導啓発台数	台	1,951	576	540	500
放置自転車撤去台数	台	417	186	227	150
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
泉大津駅、松ノ浜駅高架下へ駐輪場の整備を行い、指定管理者に駐輪場の管理運営と併せて放置自転車対策を委託したことによって、総合的な放置自転車対策が実施できた。					

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	放置自転車対策事業を指定管理者に総合的に行わせることで、事務負担の軽減と住民サービスの向上が図れた。
--------	----------------------------------------------------

【課題(問題点)】

課題(問題点)	駐輪場の整備や指定管理者制度の導入により、放置自転車台数はかなり減少してきているが、今後も更に費用対効果を追求し効率のよい放置自転車対策を行う必要がある。
---------	-------------------------------------------------------------------------------

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 指定管理者が行うことで効果的で効率的な放置自転車対策ができた。
改革・改善策等の具体的内容	泉大津駅高架下施設の開業に伴う土地利用の変化により、駅前空間における放置自転車の指導・啓発及び駐輪場の利用促進の強化方法を検討する。	

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	⑤コンパクトで居心地のよいまちづくり	④道路・交通	④	ユニバーサルデザインの視点に立った道路のバリアフリー化の推進

事業名	福祉のまちづくり歩道改良事業	担当課名	土木課
-----	----------------	------	-----

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)	高齢者及び身体障がい者等に配慮した福祉のまちづくりを推進するため、歩道の段差等の改善を行い、安全快適で人にやさしい交通環境づくりを推進する。
(事業概要等)	歩道段差改善及び視覚障がい者誘導ブロック設置。

【事業費】

項目／年度	R01 (決算額)	R02 (決算額)	R03 (決算見込額)	R04 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	1,687	1,843	1,635	2,001	
うち市負担分(千円)	1,687	1,843	1,635	2,001	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R01年度 実績値	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 目標値
歩道段差等改善箇所	箇所	8	4	1	0
視覚障がい者誘導ブロック設置箇所	箇所	8	3	16	17
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
令和3年度は、1箇所の歩道段差解消及び16箇所の視覚障がい者誘導ブロックを設置。					

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	他事業に併せて、財政状況を踏まえながら同時期の施工に努めて工事計画及び工事施工を行う。
--------	---------------------------------------------

【課題(問題点)】

課題(問題点)	限られた予算の中で費用対効果を追及し、いかに効率のよい施設管理が行えるかが課題である。
---------	---------------------------------------------

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 歩道段差を解消、視覚障がい者誘導ブロックを設置することは、誰もが円滑に通行するために必要である。
改革・改善策等の具体的内容	特記事項無し	

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	⑤コンパクトで居心地のよいまちづくり	④道路・交通	⑤	交通安全対策の充実

事業名	交通安全教育・啓発事業	担当課名	土木課
-----	-------------	------	-----

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)

交通弱者に対し、交通安全教室・研修会等を通じ交通安全意識の高揚を図る。

(事業概要等)

泉大津警察署、泉大津交通安全協会等の各種団体と連携し、市内の高校・小中学校・幼稚園・保育所・認定子ども園を対象に交通安全教室を年間50回程度開催、一般の市民の方に向けて運転者講習会を年8回、街頭啓発を9回、高齢者講習会・研修会を年間4回実施している。また、自転車用ヘルメットの購入費助成も行っている。

【事業費】

項目／年度	R01 (決算額)	R02 (決算額)	R03 (決算見込額)	R04 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	2,441	2,051	2,313	3,145	
うち市負担分(千円)	2,441	2,051	2,313	3,145	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R01年度 実績値	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 目標値
街頭啓発参加人数	人	182	0	18	100
交通安全教室参加人数	人	5,445	1,137	1,070	5,000
運転者講習会参加人数	人	236	0	0	200

(指標を設定できない理由)

(成果の概要)

継続的な交通安全啓発活動及び小学校の児童に対する交通安全教室の実施により、交通安全意識の高揚を図ることができた。

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	交通安全教室で使用するDVDのバリエーションを増やした。また、自転車用ヘルメットの購入費助成について、令和元年10月から、高齢者だけではなく小学6年生までの児童についても補助金の交付対象に含めることとした。
--------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------

【課題(問題点)】

課題(問題点)	啓発活動、交通安全教室により交通マナーの向上が図れているが、未だ交通ルールを守らない通行人等が散見される。
---------	-------------------------------------------------------

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 交通安全に関する意識を高め、交通事故を減らし、防止するためにも、啓発活動は継続していく必要がある。
改革・改善策等の具体的内容	引き続き、泉大津警察署・交通安全協会等の各種団体との連携を強めていく。	

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	⑤コンパクトで居心地のよいまちづくり	④道路・交通	⑤	交通安全対策の充実

事業名	交通安全施設整備事業	担当課名	土木課
-----	------------	------	-----

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)

市内一円の市管理道路について、安心して快適な道路環境整備を推進することを目的とする。

(事業概要等)

交通安全付属施設の設置及び改修

【事業費】

項目／年度	R01 (決算額)	R02 (決算額)	R03 (決算見込額)	R04 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	14,266	16,046	31,239	43,277	
うち市負担分(千円)	14,266	16,046	31,239	43,277	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R01年度 実績値	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 目標値
カーブミラー・照明灯設備	箇所	22	24	17	25
道路区画線施工	m	5,614	5,691	9,024	10,000

(指標を設定できない理由)

(成果の概要)

カーブミラー 15箇所、照明灯 2箇所、道路区画線、カラー舗装施工 9,024m

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	警察署と市内の危険箇所や市民の要望について情報を共有することで、迅速に対応することができた。
--------	------------------------------------------------

【課題(問題点)】

課題(問題点)	限られた予算の中で、費用対効果を追求し、いかに効率のよい施設管理が行えるかが課題である。
---------	----------------------------------------------

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 道路機能と環境性の向上を図ることで、交通ネットワークの側面から都市機能の活性化を図る。
改革・改善策等の具体的内容	引き続き警察署等と連携し、要望や危険箇所の的確な把握に努めることで、効果的な交通安全付属施設の設置及び管理を行う。	

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	⑤コンパクトで居心地のよいまちづくり	⑤公園・緑地・河川	1	公園一つひとつの特徴を活かした再整備

事業名	プール施設整備事業	担当課名	都市づくり政策課
-----	-----------	------	----------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
人の集う公園・緑・水辺のあるまちをめざし、市営プールの施設改修・補修等を行い、利用者にとって安全な状態での開場を目的とする。
(事業概要等)
プール施設の危険箇所等の補修を実施する。

【事業費】

項目／年度	R01 (決算額)	R02 (決算額)	R03 (決算見込額)	R04 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	2,231	1,793	6,002	3,221	
うち市負担分(千円)	2,231	1,793	802	0	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R01年度 実績値	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 目標値
整備不良による休業日数	日	0	0	13	0
整備不良による重大な事故	件	0	0	0	0
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
施設の危険箇所等を補修することで、施設の整備不良が原因となる怪我や事故については未然に防ぐことができたが、不可視部である埋設配管が破損したことにより、2つあるプールのうち幼児用プールのみ一部の期間休業を行った。					

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	指定管理制度へ移行後は常にプール施設に常駐している指定管理者から例会等で補修改善点の共有を受けることで、早期に補修箇所をリストアップをし、対応する予算を確保することで補修工事の対応件数を適宜増加して行う体制を構築した。
--------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------

【課題(問題点)】

課題(問題点)	施設の老朽化が顕著であり、プールの安定的な運営のためには、施設の老朽化対策や、施設内配管の更新、及びろ過機等の機械類の大規模な改修が必要な状況である。
---------	-----------------------------------------------------------------------------

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 施設等の老朽化が顕著であり、大規模な改修が必要な状況であるが、当面の間は補修等の部分改修により、安全を確保しつつ施設の維持に努める。
	改革・改善策等の具体的内容	

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	⑤コンパクトで居心地のよい まちづくり	⑤公園・緑地・河川	1	公園一つひとつの特徴を活かした再 整備

事業名	公園維持管理事業	担当課名	都市づくり政策課
-----	----------	------	----------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)

人の集う公園・緑・水辺のあるまちをめざし、市民の憩いの場となる公園を安全・安心に利用できるように、適正な維持管理に努めることを目的とする。

(事業概要等)

市管理公園及び広場の清掃、遊具点検、トイレ清掃等を行うとともに、施設の修繕等を実施する。

【事業費】

項目／年度	R01 (決算額)	R02 (決算額)	R03 (決算見込額)	R04 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	42,330	35,352	45,438	47,157	
うち市負担分(千円)	38,598	35,113	28,749	30,246	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R01年度 実績値	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 目標値
専門業者による遊具点検	回	2	2	1	1
施設の整備不良による重大な事故	件	0	0	0	0

(指標を設定できない理由)

(成果の概要)

専門業者による遊具点検並びに施設の修繕等を適切に実施することにより重大な事故を未然に防ぐことができた。

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	公園等の見回り、樹木剪定、除草、清掃、トイレ清掃等について、別々に発注をおこなっていたが、令和2年度以降は包括的に委託発注することにより事務作業の減を図ることができた。
--------	--------------------------------------------------------------------------------------

【課題(問題点)】

課題(問題点)	遊具及び建築物等の公園施設については、老朽化が顕著であり、安全確保の観点から改修等の対応をより進めていく必要がある。
---------	------------------------------------------------------------

【今後の方向性】

担当課の評価	B 改善し継続	(左記評価の理由) 公園の適正な維持管理を行うため、今後も清掃や見回り等の日常的な作業を実施していくとともに、遊具等の公園施設の点検及び修繕を実施する必要がある。
改革・改善策等の具体的内容	包括管理制度の長期継続契約を進めることにより、年ごとに行っている公募事務を削減するとともに、包括できる業務を増やし、より効率的に公園の維持管理を行うことができる体制を構築する。	

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	⑤コンパクトで居心地のよいまちづくり	⑤公園・緑地・河川	1	公園一つひとつの特徴を活かした再整備

事業名	公園施設整備事業	担当課名	都市づくり政策課
-----	----------	------	----------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
魅力的なまちづくりの一環として、老朽化した公園施設の更新及び公園の再整備を行い、より多くの市民が安心して楽しめる地域の特色を活かした公園造りを行う。
(事業概要等)
平成27年度に策定を行った公園長寿命化計画に基づく公園施設の更新を行うとともに、令和元年度に策定を行った公園整備マスタープランにより、地域のニーズにあう公園機能の適切な配置を図ることで、安心・安全で魅力的な公園づくりに努める。

【事業費】

項目／年度	R01 (決算額)	R02 (決算額)	R03 (決算見込額)	R04 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	84,576	732,160	918,415	994,305	
うち市負担分(千円)	38,446	114,647	484,459	43,693	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R01年度 実績値	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 目標値
公園の改良、施設等整備数	箇所	3	5	2	4
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
快適に利用できる公園づくりのために、計画的な公園施設の更新及び公園の再整備等を行い安心・安全な公園づくりを行うことが出来た。					

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	事業をよりいっそう進めていくために、社会資本整備総合交付金及び都市構造再編集中支援事業費補助金の活用を行い、また今後も積極的に交付金等を活用し、事業を進めていく。
--------	-----------------------------------------------------------------------------------

【課題(問題点)】

課題(問題点)	市内公園全体の遊具及び施設等の老朽化が顕著であり、対応に多額の整備費用が必要となる。
---------	--------------------------------------------

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 今後も、市内に多数ある老朽化した公園施設の更新の為、公園施設長寿命化計画及び公園整備マスタープランに基づく、年次的な改修や更新、再整備が必要である。
	改革・改善策等の具体的内容	

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	⑤コンパクトで居心地のよい まちづくり	⑤公園・緑地・河川	2	緑地の確保と親水空間の整備

事業名	みどり維持管理事業	担当課名	都市づくり政策課
-----	-----------	------	----------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)

人の集う公園・緑・水辺のあるまちをめざし、適正なみどりの維持管理を目的とする。

(事業概要等)

公園、施設及び市道植樹帯の樹木管理、除草等の維持管理を行う。

【事業費】

項目／年度	R01 (決算額)	R02 (決算額)	R03 (決算見込額)	R04 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	61,369	60,593	59,645	79,072	
うち市負担分(千円)	61,369	60,593	43,584	55,092	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R01年度 実績値	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 目標値
高木整備本数(剪定等)	本	1,012	973	1,077	1,000

(指標を設定できない理由)

(成果の概要)

枯木等倒木の危険性のある樹木の伐採や、電線を破断させる可能性の高い樹木等の整備(剪定等)を実施し、市内公園、施設及び市道植樹帯の樹木の維持管理を行った。

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	公園等の見回り、樹木剪定、除草等について、別々に発注をおこなっていたが、令和2年度以降包括的に委託発注することにより事務作業の減を図ることができた。
--------	----------------------------------------------------------------------------

【課題(問題点)】

課題(問題点)	除草や剪定が必要となる時期が、どの箇所においても同時期となることから、作業が集中し、要望等の対応に追い付かない状況となっている。 また、除草道具の運搬作業や高木剪定等を直営や別発注で行っていることから職員の事務作業の量については未だ課題が残っている。
---------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

【今後の方向性】

担当課の評価	B 改善し継続	(左記評価の理由) 良好な景観を維持し、みどりあふれるまちづくりのため、引き続き公園、施設及び市道植樹帯の適正な維持管理が必要である。
改革・改善策等の具体的内容	除草作業が追い付かない点に関して、新たに雑草抑制薬剤の散布を行うことで雑草の繁茂を抑制させ、みどりの適正な維持管理を目指す。 包括管理制度の長期継続契約を進めることにより、年ごとに行っている公募事務を削減するとともに、包括できる業務を増やし、より効率的にみどりの維持管理を行うことができる体制を構築する。	

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	⑤コンパクトで居心地のよいまちづくり	⑤公園・緑地・河川	3	市民による緑化推進活動の促進

事業名	緑化推進事業	担当課名	都市づくり政策課
-----	--------	------	----------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)

人の集う公園・緑・水辺のあるまちをめざし、泉大津市緑の基本計画に基づき、緑あふれる潤いのあるまちづくりの推進にむけて、緑化の推進を目的とする。

(事業概要等)

地域の団体が自主的に実施する緑化等の活動を支援するとともに、生徒・児童等を対象とした絵画コンクール等の普及啓発を行う。

【事業費】

項目／年度	R01 (決算額)	R02 (決算額)	R03 (決算見込額)	R04 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	3,470	3,829	5,210	5,400	
うち市負担分(千円)	3,470	3,829	0	0	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R01年度 実績値	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 目標値
緑と花の写生コンクール作品数	点	2,133	1,744		
みどりを紡ぐまちづくり絵画コンクール	点			1,879	1,900
緑化ボランティア団体	団体	19	20	22	23

(指標を設定できない理由)

(成果の概要)

緑化ボランティア団体で公園や植樹帯等の緑化・美化活動を行っていただき、公園等利用者にやすらぎや癒しの空間を提供することができた。
また、今年度から実施したみどりを紡ぐまちづくり絵画コンクールへは1,879点の応募があり、多くの子どもに対してみどりに対して愛着を持ってもらう機会を提供することができた。

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	令和3年度から緑化コンクールの名称を「みどりを紡ぐまちづくり絵画コンクール」へと改称し、内包的なイメージを含めた多様なみどりも応募の対象に含め、また画材の範囲も広げたことにより、より多くの子どもに対して、みどりに触れ愛着を持ってもらう機会提供の場を作った。
--------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

【課題(問題点)】

課題(問題点)	
---------	--

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) うるおいと安らぎを与えるみどりづくりの推進のため、引き続き、緑化ボランティア団体への支援と絵画コンクールを実施し、多くの人に身近なみどりに触れる機会を創出し、みどりの充実を図る必要がある。
改革・改善策等の具体的内容		

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	⑤コンパクトで居心地のよいまちづくり	⑥上下水道	①	水道水の案的供給

事業名	検針・料金収納業務	担当課名	水道課
-----	-----------	------	-----

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)

泉大津市水道事業が水道事業を運営し給水するために必要な経費を、水道需要者からその使用量に応じて水道料金を徴収することで、人件費等の経費削減を図り水道事業の経営健全に寄与する。

(事業概要等)

営業区域内に給水しているすべての家庭・事業所・施設の水道メーターの検針、計量法による水道メーターの定期交換、水道料金の徴収、給水停止及び解除、窓口受付、開閉栓その他関連業務

【事業費】

項目／年度	R01 (決算額)	R02 (決算額)	R03 (決算見込額)	R04 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	72,987	73,953	79,596	79,596	3年度検針・料金収納委託業者長期継続契約更新締結
うち市負担分(千円)					

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R01年度 実績値	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 目標値
調定収納率 (次年度、5月末時点で算出)	%	99.12	99.15	99.23	99.30

(指標を設定できない理由)

(成果の概要)

水道料金の調定収納率の向上を図ることにより、水道事業の経営健全に寄与した。

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	料金システムを更新したことで、水道事業の経営健全に寄与した。
--------	--------------------------------

【課題(問題点)】

課題(問題点)	近隣2市と検針・料金収納業務(長期継続契約)の委託業者を合同で選考していたが、両市が大阪広域統合企業団への統合を表明したため、次回の委託業者選考は合同又は本市単独いずれの方法を採るか検討する必要がある。
---------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) ・調定収納率は、委託業者との契約収納率を上回り、99%以上の高位で推移している。
改革・改善策等の具体的内容		

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	⑤コンパクトで居心地のよいまちづくり	⑥上下水道	①	水道水の安定供給

事業名	水道施設維持管理事業	担当課名	水道課
-----	------------	------	-----

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)

安全・安心な水道水の安定供給

(事業概要等)

配水場等の給水施設(配水管を除く。)の運転管理
配水場等の給水施設(配水管を除く。)の電気、機械設備等の保守点検及び補修

【事業費】

項目/年度	R01 (決算額)	R02 (決算額)	R03 (決算見込額)	R04 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	79,720	93,125	137,796	133,428	3年度 無停電電源装置修理
うち市負担分(千円)					4年度 LED灯化予定

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R01年度 実績値	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 目標値
年間総需要量	千m ³	8,364	8,385	8,233	8,500

(指標を設定できない理由)

(成果の概要)

効率的な施設の運用及び機器の点検等を行い、安全・安心な水道水の安定供給ができた。

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	エネルギーの有効活用により電気使用量を削減し、及び民間電力会社との契約により電力使用料金の縮減を図った。
--------	------------------------------------------------------

【課題(問題点)】

課題(問題点)	給水施設の維持、効率的な水運用及び委託業者を指導・監督する上で技術面の継承が問題である。
---------	----------------------------------------------

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 市民に安全・安心な水道水を安定供給するための事業を継承する。 水道法により、水道施設の基盤強化及び良好な維持・管理が義務
改革・改善策等の具体的内容		

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	⑤コンパクトで居心地のよいまちづくり	⑥上下水道	①	水道水の安定供給

事業名	水道情報管理システム整備事業	担当課名	水道課
-----	----------------	------	-----

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
紙媒体で保存していた給水台帳を電子計算機で保存することで、速やかな検索及び保管場所の縮小を行うことにより、窓口業務の効率化、事業対象者へのサービス向上及び事務環境の改善を図る。
(事業概要等)
給配水管及び台帳システムの整備・保守、データ更新、機器のリース管理等

【事業費】

項目／年度	R01 (決算額)	R02 (決算額)	R03 (決算見込額)	R04 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	2,664	3,362	3,651	5,562	R4年度更新延長距離の増(約2km→約4km)
うち市負担分(千円)					

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R01年度 実績値	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 目標値
水道情報管理システム整備進捗率	%	100	100	100	100
注:新設の本管・引込管の情報は、翌年度に整備					
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
迅速でより正確な情報を効率的に提供できた。 配水管情報をシステム化することにより、課内でより正確な整備計画の作成に寄与できた。					

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	給水台帳の整理(令和3年度末36,593戸)
--------	------------------------

【課題(問題点)】

課題(問題点)	古い年代の施工管には詳細な情報が残っていないものやスキャン困難なものがあるため、継続調査を行う必要がある。 建物解体等でシステム情報と現地情報がかい離しているものがあり、継続確認を行う必要がある。 配水管・給水引込管の新設等により、継続して整備していく必要がある。
---------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) データ化を一層進め、情報修正を継続し、システムの迅速化及び正確性を図る必要がある。 水道法により、令和4年10月1日から台帳整備が義務。この水道事業管理システムで対応済み
	改革・改善策等の具体的内容	

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	⑤コンパクトで居心地のよいまちづくり	⑥上下水道	①	水道水の安定供給

事業名	配水管維持事業	担当課名	水道課
-----	---------	------	-----

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)

漏水等による無駄な資源の流出を防ぎ、水道水の安定した供給を行う。

(事業概要等)

漏水調査や市民等からの通報により、漏水箇所を修理し有収率の向上を図る。

【事業費】

項目／年度	R01 (決算額)	R02 (決算額)	R03 (決算見込額)	R04 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	72,174	79,187	76,756	83,680	
うち市負担分(千円)					

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R01年度 実績値	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 目標値
漏水修理件数	件	250	267	220	262
漏水修理により防いだ推定損失額	千円	32,216	38,372	79,759	44,880

(指標を設定できない理由)

(成果の概要)

令和3年度は**220件**の漏水を発見し、79,759千円の漏水損失を抑えた。

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	より新しい漏水探知技術を調査研究することにより、より正確・より早期の漏水発見を図っている。
--------	-----------------------------------------------

【課題(問題点)】

課題(問題点)	漏水修理時に時折発生する断水及び濁り水への対応が難しい。
---------	------------------------------

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 漏水抑制のため配水管整備事業を進める必要があるが、市内すべての配水管整備を終えるのは将来になるため、現状対策として漏水の早期発見・早期施工で対応する必要がある。水道法により水道施設の良好な維持・修繕が義務
改革・改善策等の具体的内容		

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	⑤コンパクトで居心地のよいまちづくり	⑥上下水道	①	水道水の安定供給

事業名	配水管整備事業	担当課名	水道課
-----	---------	------	-----

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)	地震等の災害に強い水道施設の構築、安全・安心な水道水の安定供給
(事業概要等)	耐震幹線ループの整備、重要路線の耐震化及び老朽管の更新

【事業費】

項目／年度	R01 (決算額)	R02 (決算額)	R03 (決算見込額)	R03 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	240,193	302,234	642,406	883,348	3～4年度堺泉北港布設工事・工事監理委託、4年度ガス管移設保障1件含む
うち市負担分(千円)					

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R01年度 実績値	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 目標値
耐震化率	%	60.0	61.2	65.7	75.5
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
配水管整備計画に基づき、耐震化率の向上を果たしている。					

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	更新期間を60年に設定することにより、老朽管になる前に更新している。 大阪市水道局から水道工事施工設計・施工管理の技術支援を受けている。
--------	-------------------------------------------------------------------------

【課題(問題点)】

課題(問題点)	水需要が減少していく中で、現在の配水管口径の見直しを適時行うことにより、効率的で経済的な管更新を行う必要がある。 施工業者を指導・監督する上で技術面の継承が問題である。 高度成長期に整備された水道管が一斉に老朽化しており、管更新を一定のペースで進めていくための組織体制が必要である。
---------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

【今後の方向性】

担当課の評価	B 改善し継続	(左記評価の理由) 整備計画に遅れが生じていることに加え、難工事未整備箇所及び整備計画で未対象箇所の老朽管更新を進めていく必要があることから、更に体制を整えていく必要がある。
改革・改善策等の具体的内容		

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	⑤コンパクトで居心地のよいまちづくり	⑥上下水道	④ ⑤	公共下水道の汚水整備推進 公共下水道の雨水整備推進
事業名	管渠事業(北部処理区 整備事業)		担当課名	下水道課

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)

汚水整備については、良好な都市環境の整備と公共用水域の水質保全を目指すため、また、雨水整備については、浸水防除による生活環境の整備向上を図るため、北部処理区における整備を計画的かつ効率的に推進する。

(事業概要等)

汚水整備については、市域の約97%が整備済みであり、未整備箇所については順次住民要望等に対応しながら整備を行う。また、雨水整備については、夕凧町地内での整備を中心に行う。

【事業費】

項目／年度	R01 (決算額)	R02 (決算額)	R03 (決算見込額)	R04 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	47,542	236,813	619,943	679,446	
うち市負担分(千円)	30,692	130,414	234,725	314,861	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R01年度 実績値	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 目標値
(汚水人口普及率) = (整備人口) / (行政人口)	%	97.1	97.1	97.1	97.3
(雨水整備普及率) = (整備面積) / (認可面積)	%	37.4	37.4	38.1	38.7
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
汚水 L=524m、雨水 L=369mの整備を行った。					

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	業務の一部を委託することにより、業務効率を図っている。
--------	-----------------------------

【課題(問題点)】

課題(問題点)	国費の確保
---------	-------

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 市民生活に直結した重要な都市基盤整備であり、未普及地区の解消に向けて整備を進めるため。
改革・改善策等の具体的内容	特記事項なし	

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	⑤コンパクトで居心地のよいまちづくり	⑥上下水道	⑥	水洗化の普及促進

事業名	水洗便所普及事業	担当課名	下水道課
-----	----------	------	------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
処理区域内の未水洗化世帯に対し水洗化への早期改造に向けた啓発指導。 水洗化の実施により衛生的・文化的な市民生活と、河川・海などの公共水域の水質保全、自然環境保全に努める。また、適正な水洗化工事の実施と事業所管理のため、排水設備工事の確認・検査を行うと共に、排水設
(事業概要等)
処理区域内の未水洗化世帯訪問調査及び実態の把握。 未水洗化世帯への水洗化改造実施の指導。 水洗化普及促進のための助成金交付及び資金貸付。 排水設備工事の確認及び竣工検査。 排水設備業者への登録等の取扱事務。

【事業費】

項目／年度	R01 (決算額)	R02 (決算額)	R03 (決算見込額)	R04 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	1,966	3,310	3,130	4,130	
うち市負担分(千円)	1,966	3,310	3,130	4,130	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R01年度 実績値	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 目標値
水洗化率	%	89.8	90.2	90.6	90.7
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
水洗化について、今後は顕著な伸び率は想定していないが、水洗化率は90%を超え、年々微増しており、一定の目的は達成している。					

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	水洗化促進のため、H27年度より未水洗世帯を訪問し、水洗化できない理由等の状況調査のアンケートを実施しており、R3年度については、アンケート内容を見やすく改善した。また、未水洗世帯の訪問時、既に水洗化工事済の世帯については手続きの必要性を説明し、水洗化を図った。
--------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

【課題(問題点)】

課題(問題点)	令和3年度末において、水洗化が可能な人口に対する水洗化率が、前年度より向上し90.6%となったが、整備区域の拡大にともない対象人口が増加する中で、水洗化率としては伸びにくい状況となっている。
---------	-------------------------------------------------------------------------------------------------

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) これまでの未水洗化世帯に対する啓発活動等により、整備区域拡大による対象人口増加の状況下にあっても水洗化率を維持できている。平成26年度に汚水整備が概成しており、今後も水洗化促進事業の継続により更なる水洗化率の向上が期待できるため。
	改革・改善策等の具体的内容	

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	⑤コンパクトで居心地のよいまちづくり	⑥上下水道	⑦	下水道施設の機能維持・向上

事業名	ポンプ場更新事業	担当課名	下水道課
-----	----------	------	------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)

災害に強いポンプ施設の整備を行い、排水区域の雨水を速やかに排水して浸水の災害を防除し、市民の財産と生命を守り快適な生活環境を確保する。

(事業概要等)

(汐見ポンプ場)

ポンプ棟及び沈砂池の耐震化。老朽化した雨水ポンプ設備及び沈砂池設備等を更新する。

(小松雨水ポンプ場)

ポンプ棟及び沈砂池の耐震化。老朽化した雨水ポンプ設備及び沈砂池設備等を更新する。

【事業費】

項目／年度	R01 (決算額)	R02 (決算額)	R03 (決算見込額)	R04 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	316,572	235,452	338,022	804,800	
うち市負担分(千円)	53,612	118,952	174,472	486,276	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R01年度 実績値	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 目標値
進捗率(汐見ポンプ場)	%	75	80	100	—
進捗率(小松雨水ポンプ場)	%	—	—	6	31

(指標を設定できない理由)

(成果の概要)

汐見ポンプ場において、雨水ポンプ設備1号～4号及び沈砂池設備の更新を行った。

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	業務の一部を委託することにより、業務効率を図っている。
--------	-----------------------------

【課題(問題点)】

課題(問題点)	国費の確保
---------	-------

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 汐見ポンプ場の老朽化した雨水ポンプ設備等を計画的に更新することにより、施設が健全な状態を維持することができたため。
	改革・改善策等の具体的内容	特記事項なし